

実践記録

学校／学年	小学校／6年	
教科等：単元名	総合：情報教育（ID やパスワードの大切さ）	
キーワード	メール・掲示板・パスワード・ID・なりすまし	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d3：情報社会の危険から身を守るとともに不適切な情報に対応できる g3：生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る
	中目標項目番号 中目標項目内容	d3-2: 不適切な情報であるものを認識し、対応できる g3-1：不正使用や不正アクセスされないように利用できる
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	メールや掲示板にはなりすまし等の問題行為があることを知り、ID やパスワードの重要性、匿名性の利点と危険性を知る。	
使用教材	教材名	・事例で学ぶ Net モラル（なりすまし） ・ネット社会の歩き方（他人になりすまして・パスワード）
	製作者	事例で学ぶ：広島県教科用図書販売株式会社 歩き方：(財)コンピュータ教育開発センター
	入手先（URL 等）	http://www.hirokyou.co.jp/ http://www.cec.or.jp/net-walk/

○展開

	学習活動	指導 評価◎
導入	1 インターネットには情報検索のほかに掲示板やメールなどコミュニケーション機能があることを知る。	・必要に応じて国語の「平和のとりでを築く」の単元にあるインターネットと学習のページを紹介する。
展開	2 個人名をつけたネットワーク上のフォルダに文書を保存する方法で、文書のやり取りを体験する。（電子メールの真似を試みる） 3 なりすまし文書や迷惑な文書を受け取ってみて、匿名性の問題などに気付く。	・文書名に宛先と自分の名前を入れるよう指導する。 ・文書やりとり慣れてきたところで、予め用意しておいたなりすましや迷惑な文書を児童のフォルダに送る。 （迷惑な文書のやりとりにクラスが気付いたら担任が送った文書であることを伝える。） ・迷惑な文書やなりすましの文書を受け取った時の自分の気持ちをワークシートに記入してもらう。
おわり	4 利便性と問題点をワークシートにまとめてみてから友だちがまとめた事例を聞きながら自分だったらどうするか考える。	◎コンテンツを見て、なりすましなどのトラブルへの対処法を知り、そうした情報を見分けるために自分でできる対応をワークシートにまとめる。

○授業の成果

- ・フォルダをポスト代わりに使う場面では、手紙のやりとりが楽しいと積極的に活動していたが、なりすましメールが届くと対処方法がわからず、匿名性の問題に気づくことができた。また、今まではパスワード入力を面倒な操作と言っていた児童も、次に時間で各自に自分のパスワードを考えてもらう場面では、なりすましにあわないよう自分にしかわからないパスワードを熱心に考えていた。ID やパスワードの管理についての関心、意識も高まったと思う。

○指導のポイント・留意点

- ・実際のメールや掲示板とはかなり仕組みが異なるので、そのことは児童にしっかり伝えておく。
- ・なりすましや不正アクセスは犯罪であること、記録などから不正が立証できる事を理解させる。